

平成 30 年度第 1 回千曲市スポーツ振興懇話会 議事録

日時 平成 31 年 1 月 10 日 (木) 16:00~

会場 戸倉創造館 国際交流室

1. 開会

<進行スポーツ振興課長>

2. 教育長あいさつ

<教育長あいさつ>

3. 委嘱状の交付

<教育長より新任委員へ委嘱状の交付>

4. 委員、事務局紹介

5. 提言依頼

<教育長より委員長へ>

6. 会議事項

(1) 第 2 次千曲市スポーツ推進基本計画について

<事務局より説明>

【質疑】

委員 : 千曲市のスポーツ推進計画を策定するにあたり、市民アンケートをとるといことだが、アンケート対象者 1600 名を地区別に割り振った意味は？

事務局 : 小学校区別に分けている。地区別に盛んなスポーツがわかる。

委員長 : 国、県の基本計画にはスポーツの「する」「みる」「ささえる」点に注目している。「みる」に対する見解として、テレビ観戦ははいるのか。

事務局 : テレビ観戦ははいる。スポーツを観ることによって感動や活力を得ることができる。テレビ観戦からもそれを得ることはできる。

委員 : 実際に競技場まで出向き観戦すると、観戦する前よりその競技に対して興味関心がわく。千曲市の中にそうした方達がどれだけいるのか把握するのは重要なことと思う。ただ、設問内容を「プロスポーツ観戦」に限定する必要はないのではないか。

事務局 : “プロ” を削除し、「スポーツ観戦」とする

委員長 : 実際に競技場まで足を運ぶほど強い欲求を持った人たちがどれだけいるの

か把握することは大事だと思う。

委員長 : 設問で「観戦だけでなく、活動を応援したい」とあるが、この「活動を応援したい」というのは具体的にどういったことか。

事務局 : スポーツを「ささえる」の部分で、ただ見るだけから一步踏み込んでそのスポーツをささえたいと思った人がどれくらいいるか把握するための質問。

委員 : アンケートの間7では運動・スポーツをする頻度として1週間に1回以上としている。それ以外の期間で取り組んでいる人も把握する必要があるのではないか。

事務局 : 「週1回運動しているか」は国・県の比較対象データになっている。「週1回」の表現は削らず、回数を答える欄に期間の幅を持たせた内容を付け加える。

委員長 : アンケートの回収率はもっと向上してほしい。

事務局 : 前回のアンケート回答期限は1か月だった。今回は2週間程度としたい。

(2) 千曲市社会体育施設使用料改定について

<事務局より説明>

【質疑】

委員 : 値段設定の根拠は。指定管理については。

課長 : 条例によって決定されている。

委員 : 市外料金はもっと上げてよいのではないか

(3) その他

<事務局より説明>

7. 今後の予定について

<事務局より説明>

8. その他

9. 閉会

<進行スポーツ振興課長>